

能勢・高代寺 自然観察会のご案内

自然と文化科 観察委員会

高代寺は能勢妙見山の南西、高代寺山(488m)の頂上近くの南麓に位置しております。妙見口駅を出発して集落のはずれから棚田に沿った道を歩き、その後山道へと登ってゆきます。このコースではたくさんの里山の草花や樹木が見られます。

また旧参道なので、江戸時代に造られた石仏や町石などが多く残り、史跡も楽しむことができます。高代寺は弘法大師がここで薬師如来像を作り、これを本尊とする瑠璃光院という寺を建立したのが始まりとされ、その後、960年多田満仲が開山し、高野山に代わる寺として「高代寺」と名づけたと言われております。境内には樹齢1050年といわれるコウヤマキ、イチョウ、タラヨウ、ムクロジ、ボダイジュがあります。帰路もいろいろな樹木が観察できます。

開催日： 11月24日(金) (当日朝NHKTV画面左上の天気予報で、大阪府の
午前の降水確率が60%以上で中止)

集合時間: 10時 3班 4班
10時15分 1班 2班

集合場所: 能勢電鉄 妙見口駅

観察ルート 妙見口駅→ 吉川集落→ 高代寺参道→ 高代寺(昼食・トイレ)→ 車道→ ときわ台駅

解散場所: 能勢電鉄 ときわ台駅

持ち物: 弁当・飲料・図鑑・雨具・ストックなど 以上



棚田沿いの道



高代寺本殿とイチョウ